

東京海上ストラテジック・トラスト

東京海上^{ローグ}Rogge ニッポン・ボンド・ファンド・ カレンシー・セレクション

米ドルヘッジクラス(米ドル建)
ブラジル・リアルヘッジクラス(米ドル建)
中国元ヘッジクラス(米ドル建)
インドネシア・ルピアヘッジクラス(米ドル建)

ケイマン諸島籍契約型オープンエンド型外国投資信託

交付運用報告書

作成対象期間 第8期
(2017年3月1日～2018年2月28日)

その他記載事項

運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイト(<http://www.sc.mufig.jp/>)の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

ファンドの運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

管理会社

ルクセンブルク三菱UFJ
インベスターサービス銀行S.A.

代行協会

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、東京海上ストラテジック・トラスト(以下「トラスト」といいます。)のサブ・ファンドである東京海上Roggeニッポン・ボンド・ファンド・カレンシー・セレクション(以下「ファンド」といいます。)は、このたび、第8期の決算を行いました。

ファンドの目的は、主として、日系の発行体が日本国内および海外で発行する公社債、優先出資証券、譲渡性預金証書(CD)およびコマーシャルペーパー(CP)への投資を通じて、安定したインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることです。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第8期末		
クラス名	1口当たり 純資産価格	純資産総額
米ドルヘッジクラス	107.55米ドル	8,777,827.32米ドル
ブラジル・リアルヘッジクラス	29.52米ドル	17,006,322.42米ドル
中国元ヘッジクラス	119.05米ドル	26,785.62米ドル
インドネシア・ルピアヘッジクラス	55.92米ドル	603,409.99米ドル
第8期		
クラス名	騰落率	1口当たり 分配金合計額
米ドルヘッジクラス	-0.13%	2.40米ドル
ブラジル・リアルヘッジクラス	1.59%	7.05米ドル
中国元ヘッジクラス	11.08%	3.00米ドル
インドネシア・ルピアヘッジクラス	0.53%	7.20米ドル

(注1) 騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。以下同じです。

(注2) 1口当たり分配金合計額は、税引前の1口当たり分配金の合計額を記載しています。以下同じです。

《運用経過》

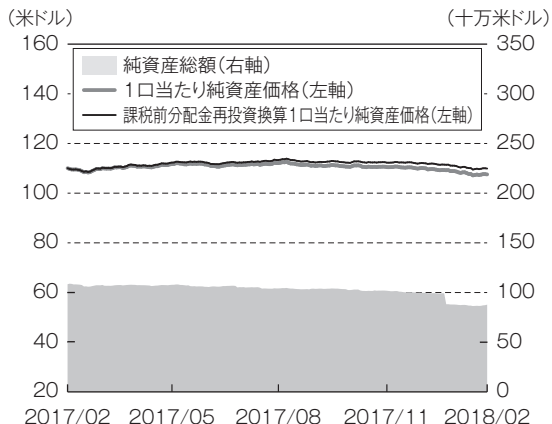
【当期の1口当たり純資産価格等の推移について】

* 課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。

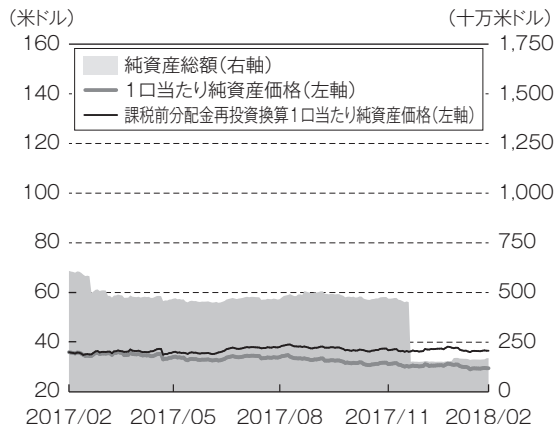
* 課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、第7期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

* ファンドにベンチマークは設定されていません。

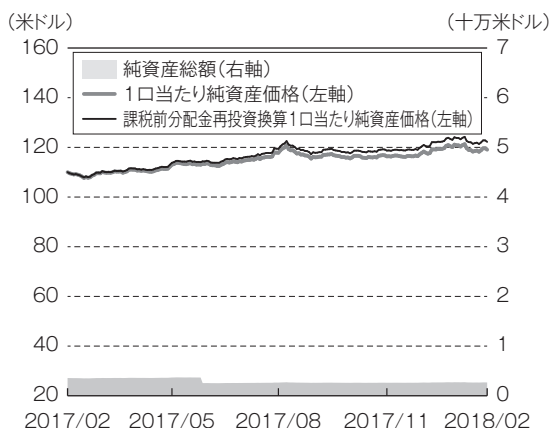
米ドルヘッジクラス



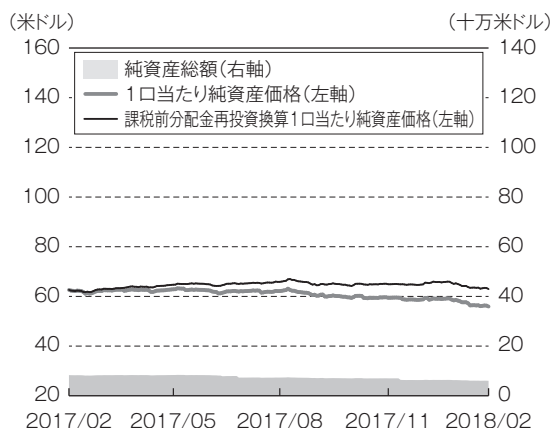
ブラジル・リアルヘッジクラス



中国元ヘッジクラス



インドネシア・ルピアヘッジクラス



	第7期末の 1口当たり純資産価格：	第8期末の 1口当たり純資産価格：	第8期中の 1口当たり分配金合計額：	騰落率：
米ドルヘッジクラス	110.06米ドル	107.55米ドル	2.40米ドル	-0.13%
ブラジル・リアルヘッジクラス	35.99米ドル	29.52米ドル	7.05米ドル	1.59%
中国元ヘッジクラス	110.02米ドル	119.05米ドル	3.00米ドル	11.08%
インドネシア・ルピアヘッジクラス	62.62米ドル	55.92米ドル	7.20米ドル	0.53%

■1口当たり純資産価格の主な変動要因

[プラス要因]

- ・債券の利息収入
- ・トランプ米政権の経済政策による成長期待や株式市場および原油価格の上昇などを好感して社債スプレッド（社債と国債の利回り格差）が縮小したこと

[マイナス要因]

- ・次期FRB（米連邦準備制度理事会）議長に金融引き締めに積極的と見られていた候補が指名される可能性が浮上し、今後の利上げ回数が市場想定を上回るとの思惑から、米国債利回りが上昇（債券価格は下落）したこと

【費用の明細】

項目	項目の概要	
管理報酬 (副管理報酬を含みます。)、 保管報酬および 管理事務代行報酬	ファンドの純資産総額の 年率0.15%	管理報酬、保管報酬および管理事務代行報酬は、信託証書に定める管理会社、保管会社および管理事務代行会社としての業務の対価として、管理会社に支払われます。
受託報酬	ファンドの純資産総額の 年率0.01% (最低年間10,000米ドル)	受託報酬は、信託証書に定める受託会社としての受託業務の対価として、受託会社に支払われます。
投資顧問報酬 (副投資顧問報酬 を含みます。)	ファンドの純資産総額の 年率0.70%	投資顧問報酬は、ファンドのポートフォリオの投資運用、資産の投資および再投資の管理業務等の対価として、投資顧問会社に支払われます。 副投資顧問報酬は、投資顧問会社に提供する投資顧問業務の対価として、副投資顧問会社に支払われます。
販売報酬	ファンドの純資産総額の 年率0.50%	販売報酬は、口座内でのファンドの管理および事務手続き、運用報告書等各種書類の送付、購入後の情報提供等の対価として販売会社に支払われます。
代行協会員報酬	ファンドの純資産総額の 年率0.05%	代行協会員報酬は、ファンド証券1口当たりの純資産価格の公表を行い、またファンド証券に関する目論見書、決算報告書その他の書類を販売会社に交付する等の業務の対価として代行協会員に支払われます。
その他の費用 (当期)	0.55%	専門家報酬、副保管報酬等

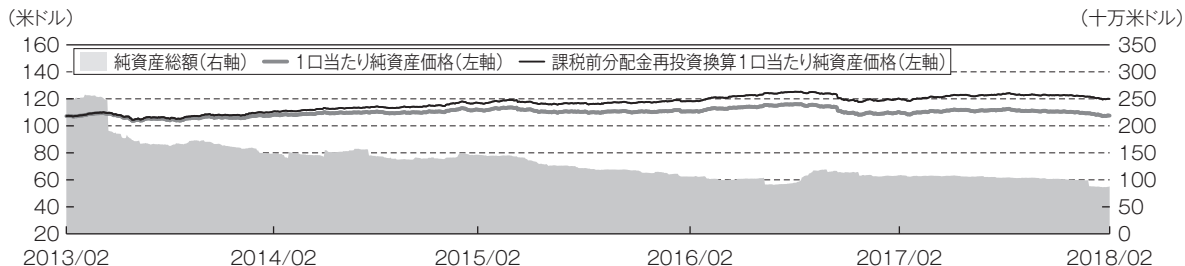
(注) 各報酬については、目論見書に定められている料率および金額を記しています。「その他の費用(当期)」には、運用状況等により変動するものや実費となるものが含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

【最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について】

(注1) 課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、第3期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

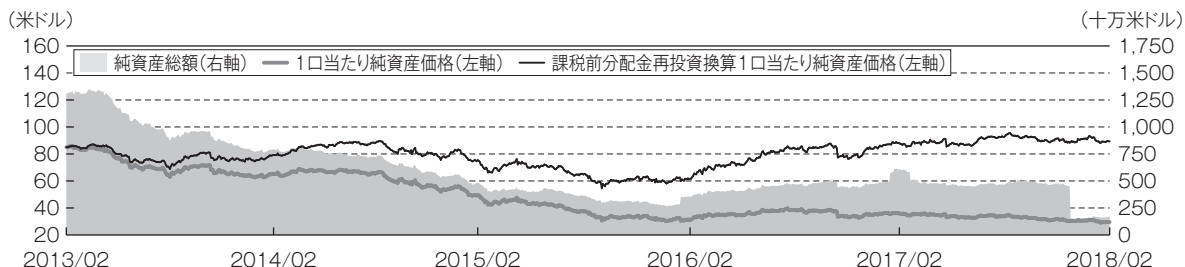
(注2) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

米ドルヘッジクラス



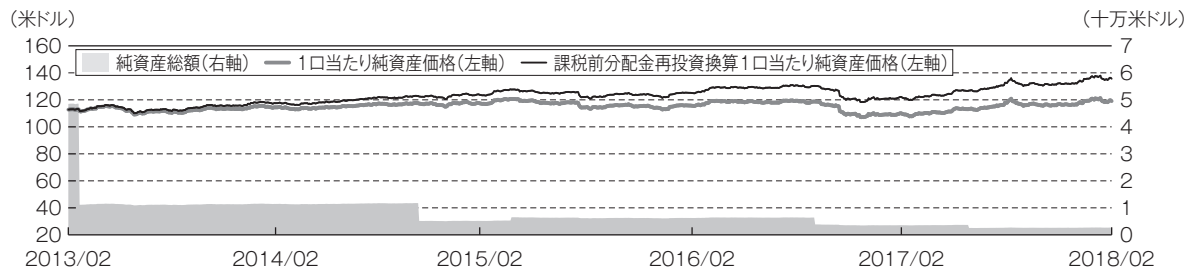
	第3期末 (2013年 2月末日)	第4期末 (2014年 2月末日)	第5期末 (2015年 2月末日)	第6期末 (2016年 2月末日)	第7期末 (2017年 2月末日)	第8期末 (2018年 2月末日)
1口当たり純資産価格 (米ドル)	107.21	108.19	111.98	110.74	110.06	107.55
1口当たり分配金合計額 (米ドル)	—	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40
騰落率 (%)	—	3.22	5.79	1.06	1.53	-0.13
純資産総額 (米ドル)	25,085,438.74	14,877,285.37	14,637,583.89	10,609,345.73	10,837,540.62	8,777,827.32

ブラジル・リアルヘッジクラス



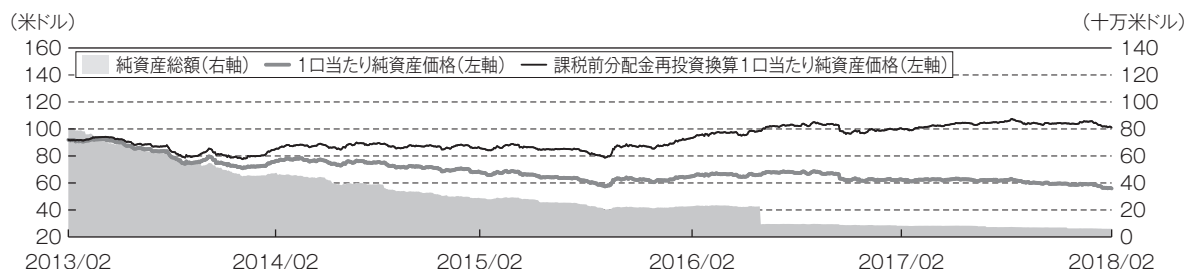
	第3期末 (2013年 2月末日)	第4期末 (2014年 2月末日)	第5期末 (2015年 2月末日)	第6期末 (2016年 2月末日)	第7期末 (2017年 2月末日)	第8期末 (2018年 2月末日)
1口当たり純資産価格 (米ドル)	85.00	65.36	49.63	31.31	35.99	29.52
1口当たり分配金合計額 (米ドル)	—	13.80	13.80	9.80	7.80	7.05
騰落率 (%)	—	-6.70	-4.90	-18.36	42.81	1.59
純資産総額 (米ドル)	131,285,688.45	79,273,419.67	48,519,441.42	35,435,322.28	60,875,358.89	17,006,322.42

中国元ヘッジクラス



	第3期末 (2013年 2月末日)	第4期末 (2014年 2月末日)	第5期末 (2015年 2月末日)	第6期末 (2016年 2月末日)	第7期末 (2017年 2月末日)	第8期末 (2018年 2月末日)
1口当たり純資産価格 (米ドル)	112.73	114.41	117.39	115.62	110.02	119.05
1口当たり分配金合計額 (米ドル)	—	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
騰落率 (%)	—	4.22	5.30	1.06	-2.33	11.08
純資産総額 (米ドル)	484,739.77	114,408.04	51,649.85	62,433.56	35,755.99	26,785.62

インドネシア・ルピアヘッジクラス



	第3期末 (2013年 2月末日)	第4期末 (2014年 2月末日)	第5期末 (2015年 2月末日)	第6期末 (2016年 2月末日)	第7期末 (2017年 2月末日)	第8期末 (2018年 2月末日)
1口当たり純資産価格 (米ドル)	91.98	76.23	67.96	64.92	62.62	55.92
1口当たり分配金合計額 (米ドル)	—	9.00	9.00	8.25	7.20	7.20
騰落率 (%)	—	-7.36	0.75	8.69	7.63	0.53
純資産総額 (米ドル)	8,093,659.12	4,744,483.50	2,878,041.96	2,280,557.09	832,164.49	603,409.99

【投資環境について】

【2017年3月-2017年8月】

米国債利回りは、低下しました。

期初、シリアや北朝鮮情勢などの地政学的リスクの高まりやトランプ米大統領の低金利政策を支持する発言から米国債利回りは低下しました。その後、先進国の中央銀行が総じて金融引き締め方向に転じる動きを示したことから、米国債を含めて世界的に利回りが上昇する局面もありましたが、北朝鮮のミサイル問題やスペインのバルセロナでのテロ事件発生などにより地政学的リスクが再度高まったことから、米国債利回りは低下基調となりました。

ドイツ国債利回りは、上昇しました。

期初は、米国によるシリアへの攻撃など地政学的リスクの台頭や、フランス大統領選の不透明感からドイツ国債利回りは低下基調で推移しましたが、フランス大統領選が順当な結果となったことなどを背景にドイツ国債利回りは上昇に転じました。その後、先進国の中央銀行が総じて金融引き締め方向に転じる動きを示したことなどから、ドイツ国債利回りは急上昇しましたが、8月下旬にかけて、軟調な経済指標などから低下に転じました。

海外社債市場で、社債スプレッドは縮小しました。北朝鮮のミサイル発射などを受けた地政学的リスクの高まりから、投資家のリスク回避姿勢が強まったことによりスプレッドは拡大する局面もありましたが、フランス大統領選の結果が好感されたことや、株式市場および原油価格が上昇するなど総じてリスク資産が選好されるなかスプレッドは縮小しました。

当ファンドが投資対象とする日系外貨建社債も海外社債市場と同様に、社債スプレッドは期初から縮小しました。

【2017年9月-2018年2月】

米国債利回りは上昇しました。

FOMC(米連邦公開市場委員会)において、次期FRB議長に金融引き締め積極的に見られていた候補が指名される可能性が浮上し、今後の利上げ回数が市場想定を上回るとの思惑から、米国債利回りは上昇しました。その後も米国雇用統計で平均時給が上昇するなどの経済指標の強さが示されたことを受けて利回りの上昇圧力が強まりました。

ドイツ国債利回りは上昇しました。

スペインのカタルーニャ州独立問題などの欧州の政治的混乱を受けた投資家のリスク回避的な動きから安全資産であるドイツ国債は買われ、利回りは低下しました。しかしその後は、ECB(欧州中央銀行)の金融引き締め政策が意識されたことからドイツ国債利回りは上昇しました。

海外社債市場では、堅調な経済指標や原油価格の底堅さ等を背景に、社債スプレッドが縮小しました。需給の緩みや米国の税制改革の進展に対して不透明感が高まったことなどを背景にスプレッドは一時的に拡大する局面もありましたが、投資家の利回りを追求する動きが継続したことに加えて、トランプ米政権の経済政策による成長期待などを背景にスプレッドは縮小しました。

当ファンドが投資対象とする日系外貨建社債についても、海外社債市場と同様に社債スプレッドは縮小しました。

以上のような経過を経て、米国債利回り、ドイツ国債利回りともに期を通じて上昇しました。また、日系外貨建て社債の спреッドは期初から縮小しました。

【ポートフォリオについて】

当期、日系外貨建て社債スプレッドが縮小したものの、欧米の債券利回りが全般的に上昇したことから、1口当たり純資産価格(分配金再投資)は、米ドルヘッジクラスは0.1%下落しました。中国元ヘッジクラスは、中国元が米ドルに対して上昇したことから、11.1%上昇しました。インドネシア・ルピアヘッジクラスとブラジル・リアルヘッジクラスは、為替取引によるプレミアム収入もあり、それぞれ0.5%、1.6%上昇しました。

【分配金について】

当期(2017年3月1日～2018年2月28日)の1口当たり分配金(税引前)はそれぞれ下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

米ドルヘッジクラス

(金額:米ドル)

分配落日	1口当たり純資産価格 ^(注1)	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率 ^(注2))	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額 ^(注3)
2017年3月10日	108.42	0.20 (0.18%)	-0.93
2017年4月10日	110.07	0.20 (0.18%)	1.85
2017年5月10日	110.46	0.20 (0.18%)	0.59
2017年6月12日	111.61	0.20 (0.18%)	1.35
2017年7月10日	110.67	0.20 (0.18%)	-0.74
2017年8月10日	111.39	0.20 (0.18%)	0.92
2017年9月11日	112.21	0.20 (0.18%)	1.02
2017年10月10日	110.91	0.20 (0.18%)	-1.10
2017年11月10日	110.62	0.20 (0.18%)	-0.09
2017年12月11日	110.38	0.20 (0.18%)	-0.04
2018年1月10日	109.56	0.20 (0.18%)	-0.62
2018年2月13日	107.73	0.20 (0.19%)	-1.63

(注1) 当該分配落日が評価日でない場合には、当該分配落日の直後の評価日における1口当たり純資産価格とします。下記(注2)から(注4)を含め、以下本「分配金について」において同様とします。

(注2) 「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

$$\text{対1口当たり純資産価格比率(\%)} = 100 \times a / b$$

a = 当該分配落日における1口当たり分配金額

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

以下同じです。

(注3) 「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

$$\text{分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額} = b - c$$

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

c = 当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

以下同じです。

(注4) 2017年3月10日の直前の分配落日(2017年2月10日)における1口当たり純資産価格は、109.55米ドルでした。

ブラジル・リアルヘッジクラス

(金額：米ドル)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率)	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額
2017年3月10日	34.46	0.65 (1.85%)	-0.55
2017年4月10日	34.79	0.65 (1.83%)	0.98
2017年5月10日	34.36	0.65 (1.86%)	0.22
2017年6月12日	32.99	0.65 (1.93%)	-0.72
2017年7月10日	32.62	0.65 (1.95%)	0.28
2017年8月10日	33.48	0.65 (1.90%)	1.51
2017年9月11日	34.20	0.65 (1.87%)	1.37
2017年10月10日	32.59	0.50 (1.51%)	-1.11
2017年11月10日	31.20	0.50 (1.58%)	-0.89
2017年12月11日	30.49	0.50 (1.61%)	-0.21
2018年1月10日	30.42	0.50 (1.62%)	0.43
2018年2月13日	29.07	0.50 (1.69%)	-0.85

(注)2017年3月10日の直前の分配落日(2017年2月10日)における1口当たり純資産価格は、35.66米ドルでした。

中国元ヘッジクラス

(金額：米ドル)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率)	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額
2017年3月10日	107.69	0.25 (0.23%)	-0.93
2017年4月10日	109.78	0.25 (0.23%)	2.34
2017年5月10日	110.21	0.25 (0.23%)	0.68
2017年6月12日	113.26	0.25 (0.22%)	3.30
2017年7月10日	112.52	0.25 (0.22%)	-0.49
2017年8月10日	115.24	0.25 (0.22%)	2.97
2017年9月11日	119.27	0.25 (0.21%)	4.28
2017年10月10日	116.98	0.25 (0.21%)	-2.04
2017年11月10日	115.87	0.25 (0.22%)	-0.86
2017年12月11日	116.34	0.25 (0.21%)	0.72
2018年1月10日	117.44	0.25 (0.21%)	1.35
2018年2月13日	118.94	0.25 (0.21%)	1.75

(注)2017年3月10日の直前の分配落日(2017年2月10日)における1口当たり純資産価格は、108.87米ドルでした。

インドネシア・ルピアヘッジクラス

(金額：米ドル)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率)	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額
2017年3月10日	61.09	0.60 (0.97%)	-0.60
2017年4月10日	62.24	0.60 (0.95%)	1.75
2017年5月10日	61.83	0.60 (0.96%)	0.19
2017年6月12日	62.53	0.60 (0.95%)	1.30
2017年7月10日	61.21	0.60 (0.97%)	-0.72
2017年8月10日	61.50	0.60 (0.97%)	0.89
2017年9月11日	62.61	0.60 (0.95%)	1.71
2017年10月10日	59.96	0.60 (0.99%)	-2.05
2017年11月10日	59.38	0.60 (1.00%)	0.02
2017年12月11日	58.86	0.60 (1.01%)	0.08
2018年1月10日	58.65	0.60 (1.01%)	0.39
2018年2月13日	56.37	0.60 (1.05%)	-1.68

(注)2017年3月10日の直前の分配落日(2017年2月10日)における1口当たり純資産価格は、62.29米ドルでした。

《今後の運用方針》

日系外貨建社債の組入比率については、高位を維持する方針です。景気情勢や市場動向を見極めつつ、組入セクターの構成を柔軟に変更する方針です。

《お知らせ》

該当事項はありません。

《ファンドの概要》

ファンド形態	ケイマン諸島籍契約型オープンエンド型外国投資信託
信託期間	ファンドは、管理会社が受託会社と協議の上、存続期間の延長を決定しない限り、2021年2月26日に終了します。ただし、有価証券報告書に定めるいずれかの方法により当該日までに終了する場合を除きます。
運用方針	ファンドの目的は、主として、日系の発行体が日本国内および海外で発行する公社債、優先出資証券、譲渡性預金証書(CD)およびコマーシャルペーパー(CP)への投資を通じて、安定したインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることです。
主要投資対象	ファンドは、日系発行体(日本企業あるいはその子会社、日本の政府機関など)が世界で発行する公社債・優先出資証券・譲渡性預金証書(CD)・コマーシャルペーパー(CP)に主として投資を行います。また、取得時において、投資適格相当以上の格付けを取得している有価証券を投資対象とします。
ファンドの運用方法	ファンドは、分散投資を行うことで信用リスクの低減を図ります。 組み入れる個別銘柄は、ポートフォリオ全体の利回りを考慮して選定を行います。
主な投資制限	ファンドに適用される投資制限は以下のとおりです。 (イ)ファンドについて空売りされる有価証券の時価総額は、ファンドの純資産総額を超えないものとします。 (ロ)ファンドの純資産総額の10%を超えて、借入れを行うものではありません。ただし、合併等の特別緊急事態により一時的に、かかる10%を超える場合はこの限りではありません。 (ハ)管理会社の運用する証券投資信託およびミューチュアル・ファンドの全体において、一発行会社の議決権総数の50%を超えて投資を行ってはなりません。かかる制限は、他の投資信託に対する投資には適用されません。 (注)上記の比率の計算は、買付時点基準または時価基準のいずれかによることができます。 (ニ)ファンドは、私募株式、非上場株式または不動産等、流動性に欠ける資産に対しその純資産の15%を超えて投資を行いません。ただし、日本証券業協会が定める外国投資信託受益証券の選別基準(随時改定または修正されることがあります。)に要求されるとおり、価格の透明性を確保する方法が取られている場合はこの限りではありません。 (注)上記の比率の計算は、買付時点基準または時価基準のいずれかによることができます。 (ホ)投資対象の購入、投資および追加の結果、ファンドの資産額の50%を超えて、日本の金融商品取引法において規定される「有価証券」の定義に該当しない資産を構成する場合、かかる投資対象の購入、投資および追加を行いません。 (ヘ)管理会社が自己または第三者の利益を図る目的で行う取引等、受益者の保護に欠け、またはファンドの資産の適正な運用を害するファンドのための管理会社の取引は、すべて禁止されます。ファンドの投資対象の価値の変化、再構成、合併、ファンドの資産からの支払またはファンドの受益証券の買戻しの結果としてファンドに適用される制限を超えた場合、管理会社は、直ちにファンドの投資対象を売却する必要はありません。しかし、管理会社は、ファンドの受益者の利益を考慮した上で、違反が判明してから合理的な期間内にファンドに適用ある制限を遵守するために合理的に可能な措置を講じるものとします。
分配方針	管理会社は、いずれのクラスに関しても、投資顧問会社と協議の上、毎月10日(当該日が営業日でない場合は翌営業日)に、純投資収入、純実現・未実現キャピタルゲインおよび配当可能資本から分配を宣言することができます。

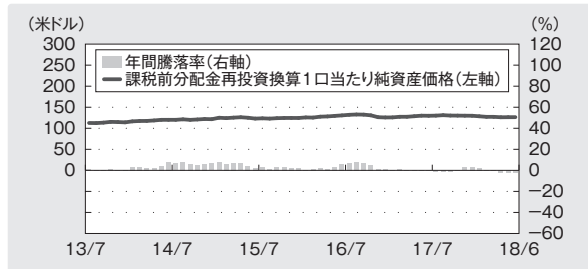
《参考情報》

【ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

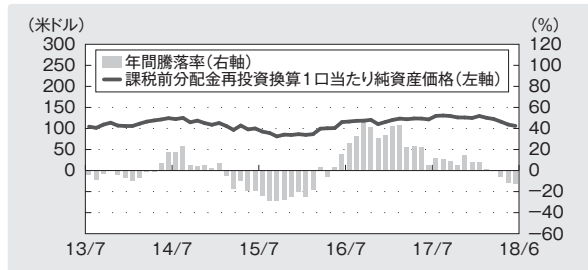
ファンドの課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格・年間騰落率の推移

2013年7月～2018年6月の5年間におけるファンドの課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格(各月末時点)、年間騰落率(各月末時点)の推移を示したものです。

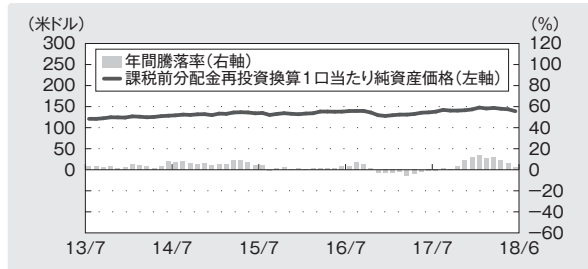
米ドルヘッジクラス



ブラジル・リアルヘッジクラス



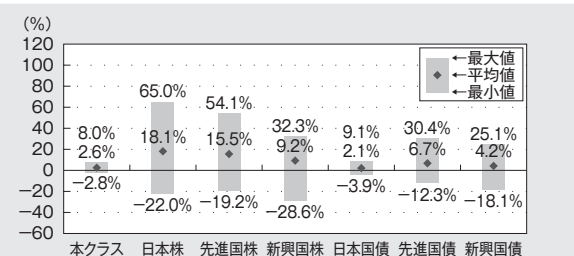
中国元ヘッジクラス



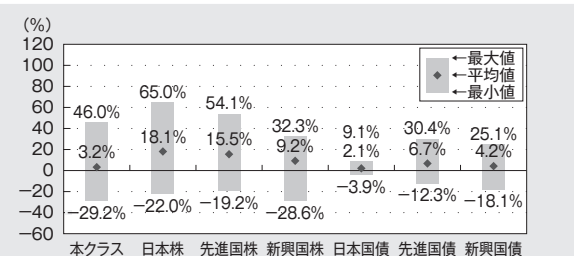
ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較

このグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、左のグラフと同じ期間における年間騰落率(各月末時点)の平均と振れ幅を、ファンドと代表的な資産クラスとの間で比較したものです。

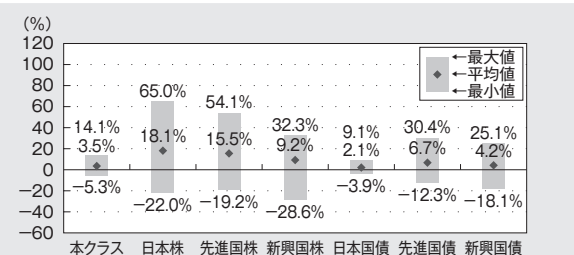
米ドルヘッジクラス



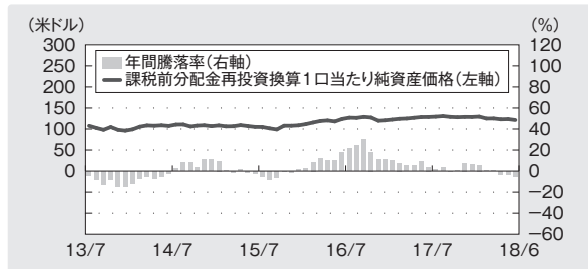
ブラジル・リアルヘッジクラス



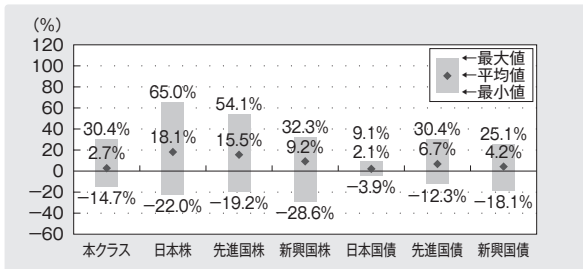
中国元ヘッジクラス



インドネシア・ルピアヘッジクラス



インドネシア・ルピアヘッジクラス



出所：Bloomberg L.P.および指数提供会社のデータを基に森・濱田松本法律事務所が作成

- ※課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したものです。
- ※ファンドの年間騰落率（各月末時点）は、各月末とその1年前における課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格を対比して、その騰落率を算出したものです。
- ※代表的な資産クラスの年間騰落率（各月末時点）は、各月末とその1年前における下記の指数の値を対比して、その騰落率を算出したものです。
- ※ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較は、上記の5年間の各月末時点における年間騰落率を用いて、それらの平均・最大・最小をグラフにして比較したものです。
- ※ファンドの課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格および年間騰落率は、実際の1口当たり純資産価格およびそれに基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- ※ファンドの年間騰落率は、各受益証券の参照通貨建てで計算されており、円貨に換算されておりません。したがって、円貨に換算した場合、上記とは異なる騰落率となります。
- ※ファンドは代表的な資産クラスの全てに投資するものではありません。

●各資産クラスの指数

- 日本株・・・TOPIX（配当込み）
- 先進国株・・・ラッセル先進国（除く日本）大型株インデックス
- 新興国株・・・S&P新興国総合指数
- 日本国債・・・BBGバークレイズE1年超日本国債指数
- 先進国債・・・FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債・・・FTSE新興国市場国債インデックス（円ベース）

（注）ラッセル先進国（除く日本）大型株インデックスおよびS&P新興国総合指数は、Bloomberg L.P.で円換算しています。

TOPIX（東証株価指数）は、株式会社東京証券取引所（以下「**株**東京証券取引所」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、**株**東京証券取引所が有しています。なお、ファンドは、**株**東京証券取引所により提供、保証または販売されるものではなく、**株**東京証券取引所は、ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

ラッセル・インデックスに関連する登録商標、トレードマーク、サービスマークおよび著作権等の知的財産権、指数値の算出、利用その他一切の権利は、ラッセル・インベストメントに帰属します。インデックスは資産運用管理の対象とはなりません。またインデックス自体は直接的に投資の対象となるものではありません。

FTSE世界国債インデックスおよびFTSE新興国市場国債インデックスはFTSE Fixed Income LLCにより算出および公表されている債券インデックスです。

《ファンドデータ》

【ファンドの組入資産の内容】

(第8期末現在)

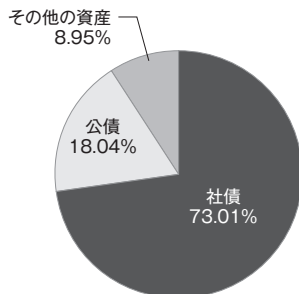
●組入上位資産

(組入銘柄数：25銘柄)

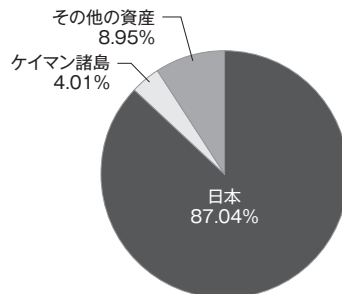
上位10銘柄	組入比率(%)
SOMPO JAPAN NIPPONKOA INSURANCE INC	6.47
FUKOKU MUTUAL LIFE INSURANCE CO	6.41
SUMITOMO LIFE INSURANCE CO	6.32
JAPAN FINANCE ORGANIZATION FOR MUNICIPALITIES	6.29
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY	5.90
ORIX CORP	5.84
MITSUI SUMITOMO INSURANCE CO LTD	5.69
SUMITOMO CORP	4.75
DAI-ICHI LIFE INSURANCE CO LTD/THE	4.66
MITSUBISHI UFJ FINANCIAL GROUP INC	4.55

(注) 組入比率は純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。以下円グラフも同様です。

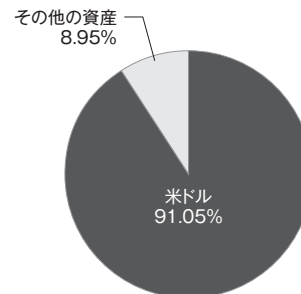
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



(注1) 上記円グラフには、四捨五入した比率を記載しているため、全資産の比率の合計が100.00%にならない場合があります。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

【純資産等】

第8期末			
クラス名	純資産総額	発行済口数	1口当たり純資産価格
米ドルヘッジクラス	8,777,827.32米ドル	81,619口	107.55米ドル
ブラジル・リアルヘッジクラス	17,006,322.42米ドル	576,095口	29.52米ドル
中国元ヘッジクラス	26,785.62米ドル	225口	119.05米ドル
インドネシア・ルピアヘッジクラス	603,409.99米ドル	10,790口	55.92米ドル

第8期			
クラス名	販売口数	買戻口数	発行済口数
米ドルヘッジクラス	7,168 (7,168)	24,018 (24,018)	81,619 (81,619)
ブラジル・リアルヘッジクラス	285,340 (285,340)	1,400,586 (1,400,586)	576,095 (576,095)
中国元ヘッジクラス	0 (0)	100 (100)	225 (225)
インドネシア・ルピアヘッジクラス	0 (0)	2,500 (2,500)	10,790 (10,790)

(注) ()の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。